



長野県 PR キャラクター  
「アルクマ」©長野県アルクマ

R8.5.19 発行

# 家畜衛生広報 いいだ

飯田家畜保健衛生所  
飯伊家畜畜産物衛生指導協会  
Tel 0265-53-0440  
Fax 0265-53-0441  
E-mail iidakachiku@pref.nagano.lg.jp  
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/



## バルク乳検査（酪農生産性向上対策事業）が始まります

今年も年2回（6月、10～11月頃）のバルク乳検査\*を行います。

この検査は、伝染性乳房炎の有無や、搾乳衛生の状態確認、牛ウイルス性下痢（BVD）のまん延防止を図ることを目的としています。

採材・検査へのご協力をお願いします。

★バルク乳検査：細菌検査、マイコプラズマ検査、BVD ウイルス遺伝子検査

### マイコプラズマと牛ウイルス性下痢 (BVD) について

#### マイコプラズマ乳房炎

乳房の腫脹や発赤、泌乳量の激減、泌乳停止が起こる。  
伝染力が非常に強く、ミルカーを介して感染が拡大する。  
早期発見、感染牛の隔離および淘汰が重要

#### BVD

妊娠牛の感染により、流産、異常産を起こす。妊娠牛以外の感染では、免疫力の低下から感染症になる。

感染拡大防止には、持続感染牛 (PI 牛) の早期発見、淘汰が重要



### 黄色ブドウ球菌 (SA) とは

伝染性乳房炎の原因菌の1つで人や牛の皮膚に存在します。SAによる乳房炎は治療が難しく、乳房内で大量に増殖し乳汁とともに環境中に排出されます。

#### 対策

- ・搾乳手袋の装着 ・前絞りの実施（乳汁を牛床に捨てない）
- ・ポストディッピングの実施
- ・過搾乳により乳頭を傷めない
- ・定期的なPLテストの実施
- ・SA保菌牛を常に把握し新たな感染の拡大を防ぐ  
（牛の並び替え、SA保菌牛は後半に搾乳）

